【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月 20 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人　全国女性シェルターネット
（2）事業名　：　「女性に対する暴力」専門相談支援者育成事業
（3）事業実施期間：2020 年 5 月から 2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：特定非営利活動法人　まちぽっと

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐　全て公開した　／　☑　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 事業の性質上、嫌がらせ目的に情報を得ようとされることがあるため、情報公開、個人情報保護等に関する規程だけ公開している。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☑　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☐　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 重要な書類、情報等はメールでは送信せず、限定されたメンバーがアクセスできるクラウドで共有することとした。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
実施日 2023 年 4 月 10 日と実施者 監事・田端八重子
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☐ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☑ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：事業自体のウェブサイトの方に表示している。 今後、自団体のウェブサイト改訂後はそちらにも表示する

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）		
広報制作物等	有	パンフレット、ウェブサイト
報告書等		

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

新たな人材を獲得できた 新たな協力をいただける業者などとの関係ができた 新規受講生の獲得によって、相談員育成に貢献できた 加盟団体の各支援現場から「コロナ緊急支援」を通じて、日々の活動の詳細な報告が寄せられ、包括的な支援を必要としている被害者が存在していることが一層明確になった。

【添付資料】

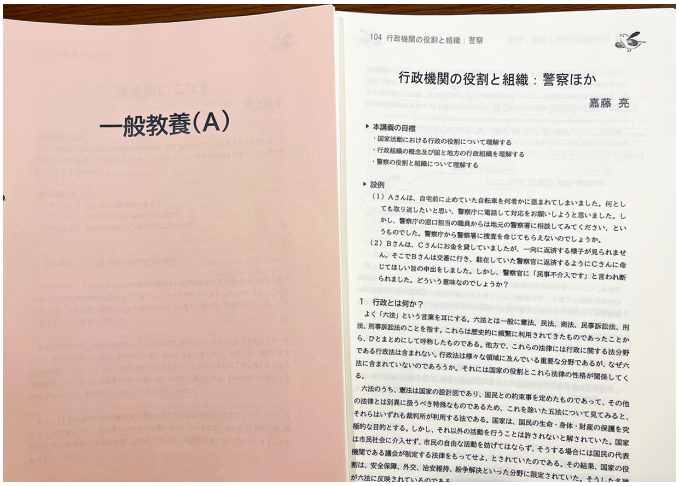
活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

「女性に対する暴力」専門相談支援者育成事業



2022年に受講生に配布したテキスト表紙とテキスト：1年目の基礎科目のテキストはバイダーに綴り、2年目の専門科目のテキストを追加出来るよう配慮した。

動画受講システムの画面：2022年は基礎科目5群とオプション科目5科目をいつでも視聴できるシステムを提供した。動画視聴後は課題提出を義務づけた。視聴期間は2022年7月20日～12月20日とし、動画の視聴回数に無制限とした。また、2023年、2024年の動画視聴期間にも視聴可能としている。

2022年に開講した基礎科目44科目のうち、ワークショップ形式の科目が5科目あった。受講生の居住地が全国に散在していたので、参加型ワークショップを東京（左図）と北海道（右図）でそれぞれ1回実施した。時間及び距離の関係で参加できない受講生のためZoomを使用したワークショップを3回実施した。Zoomでの開催日時は、働いている受講生に配慮した曜日、時間帯に実施した。

EMPOWERMENT SCHOOL

DV・性暴力被害者を支援する

エンパワメント・スクール

ジェンダーベイスト・バイオレンス(GBV)専門支援員養成講座

エンパワメント・スクールは、DVや性暴力などの「ジェンダーベイスト・バイオレンス」「女性に対する暴力」被害者の支援の専門家を育てる講座です。
DVや性暴力の対策、被害者支援にこれまで取り組んできた人たちの思いや経験・知識・スキル、海外での研修カリキュラムなどを集め、教材を作成して講座や実習を行い、次世代の支援者やこの問題にかかわる仕事に携わる人材を育成することを目指しています。

https://www.gbv-epschool.or.jp/

主な特徴

どんな場所でも、何時でも自分のペースで学べます

★　受講方法
オンラインでの動画(オンデマンド)視聴による学習と、参加型学習

○　動画の視聴　：　学ぶ場所と時間をあなたが選べます！
・科目の大部分は、日本に限らず世界のどの地域からでも、自宅や職場からアクセスして学ぶことが可能です。現在、海外在住の受講生が在籍しています。
（動画視聴のためには　PCあるいはタブレットが必要です）

○　参加型学習：リアルタイムでの参加型ワークショップと演習も数科目あります。
対面方式とオンライン方式で実施します。相談に必要な対面でのスキルを学べます。

○　視聴期間
・受講申し込みの年から3年間視聴することができるので、ご自分のペースで学ぶことができます。
・ 2022年の視聴可能期間は7月20日～12月20日

あなたに適したコースを選ぶことができます

2022年では、下記の6コースを提供しています
：専門コースに配置されている専門科目は2023年に開講します

コース	基礎科目	専門科目	オプション科目
GBV専門コース	44科目	35科目	5科目
GBV基礎コース	44科目		5科目
性暴力専門コース	32科目	14科目	5科目
性暴力基礎コース	32科目		5科目
DV専門コース	36科目	20科目	5科目
DV基礎コース	36科目		5科目

1年目開講科目(2022年実施）：1コマ60分

コース	科目群	テーマ名
基礎	一般教養（A） 各論の講義を理解するために必要な基礎知識 を学ぶ。	法を使いこなす
		裁判の仕組み（刑事と民事）
		行政機関の役割と組織：警察
		福祉政策と制度・機関
		国籍（外国人・外国籍とは）
		国と地方自治体の関係・役割
基礎	一般教養（B）　（基礎の基礎編）	法律は誰がどう決める 地方自治体とは
基礎	ジェンダー学	ジェンダー平等と現代社会 ジェンダー論
		ジェンダーと暴力、男性性
		セクシュアリティ論
		SOGI（性的指向やジェンダー・アイデンティティ）
	ジェンダー学(オプション科目)	セクシュアル・マイノリティの相談支援
基礎	相談支援	女性支援の意義と支援理念
		相談・支援の基本 社会資源一般の活用 ワーク／事例をもとに相談・支援を考える
		ロールプレイ／相談の受け方の演習
		相談記録を書いてみよう
基礎	ドメスティック・バイオレンス 【問題の理解】	DVの理解　6コマ
		加害者について考える　2コマ 児童虐待連携支援
基礎	性暴力【問題の理解】	性暴力の基礎知識　2コマ どのように性暴力は起きるのか 被害の構造①　被害の構造② 加害者を考える①　加害者を考える② 社会は性暴力をどう扱うのか Ⅰ二次被害 社会は性暴力をどう扱うのかⅡ変わる世界の性犯罪

講師名などはウエブサイトでご覧になれます https://www.gbv-epschool.or.jp/

★　各コースに配置されている2022年開講の科目群

科目群	科目数	GBV専門コース	GBV基礎コース	性暴力専門コース	性暴力基礎コース	DV専門コース	DV基礎コース
一般教養 (A)	8	○	○	○	○	○	○
ジェンダー学	7	○	○	○	○	○	○
相談支援	9	○	○	○	○	○	○
ドメスティック・バイオレンス【問題の解決】	9	○	○			○	○
性暴力【問題の理解】	8	○	○	○	○		

受講料：1科目　2,000円（テキスト代込み）

2年目(2023年予定カリキュラム)

コース	科目群	テーマ名
基礎	児童虐待【問題の理解】	3コマ
専門	ドメスティック・バイオレンス 【支援のための知識や技術】	DV防止法の概要 2コマ
		相談から回復支援まで　2 コマ
		DV被害者の司法的支援　2コマ
		DV被害者の医療的支援　2コマ
		DV被害者の行政手続き支援
		特別な配慮が必要な専門的支援　6コマ
専門	性暴力　【支援のための知識や技術】	性犯罪の支援（刑事）2コマ 性暴力被害者・医療支援　2コマ
		性暴力被害者・医療支援
		予期せぬ妊娠とその支援
		子どもの性暴力
		セクシュアル・ハラスメント　2コマ デジタル性被害の支援
		性暴力ワンストップセンター
		ケースで考える性暴力支援　ケースの見立てと支援計画 2コマ
専門	被害者の理解と支援	被害者の理解、被害者の心理、被害者の回復、 支援者としてのあり方　4コマ
基礎	見学	
専門	実習・OJT	
専門	【対策・政策を作る】	

本講座の特徴

【問題の理解】と**【支援のための知識や技術】**、そして見学やOJTなどによって構成されています。

【問題の理解】科目群では

・DVについての基礎的な知識を学びます。

・性暴力についての基礎的な知識を学びます。

・また、「ジェンダーに基づく暴力　（Gender-based Violence）」の問題の構造社会的背景を知るためにジェンダー学を学びます。

・相談支援活動は、制度や社会の中の様々なリソースを活用して被害当事者の方を支援する「ソーシャルワーク」です。そこで、相談支援とはどのような活動なのかの基本枠組みを学びます。また、相談を受け、支援をしていくためには知識だけではなく、技法・技術（スキル）を身に着ける必要があり、そうした援助スキルを実習、演習などによって学びます。

・相談支援活動の前提となる、関連する法制度の知識を学びます・

・それに加えて、そもそも「法律とは？」「裁判の仕組みや行政の組織とは」など、基礎知識も学びます。

【支援のための知識や技術】科目群では

・さらに専門的な法の概念、支援対象別の支援の実際、最新の課題、具体的な援助方法を学びます。

資格について

・各コースを修了すると、受講修了証が授与されます。

◎　GBV支援員資格

GBV基礎コースを修了し、見学実習を受講し、試験に合格すると認定されます。

◎　GBV専門支援員資格

実務経験がある方が、GBV専門コースを修了し、1次試験の後、OJT (On-the-Job-Training)を経て、さらに試験に合格すると資格が認定されます。

実施団体について

休眠預金活用事業助成金および個人や企業・団体のからの寄付を得て、NPO法人全国女性シェルターネットと一般社団法人ジェンダーベイスト・バイオレンス専門支援員養成センター（略称：エンパワメント・スクール）とが共同で実施し、資格認定は一般社団法人ジェンダーベイスト・バイオレンス専門支援員養成センターが行います。

◎ NPO法人　全国女性シェルターネット

DV等の被害者支援を行う民間シェルター団体などの全国連絡組織です。
所在地：東京　1998年設立
主な事業内容：全国シェルターシンポジウムの開催、政策提言・社会への実情の発信、加盟団体を通じた被害者支援、DV・性暴力相談員支援養成
ウェブサイト　https://nwsnet.or.jp/ja/

◎ 一般社団法人ジェンダーベイスト・バイオレンス専門支援員養成センター
(略称：エンパワメント・スクール)

ジェンダーベイスト・バイオレンス(GBV)専門支援員の資格認定など、支援員の育成を行うために、2021年に設立された団体です。
所在地：札幌市
ウェブサイト　https://www.gbv-epschool.or.jp/

本事業に助成してくださった団体・企業

広げよう 地域に根ざす 支援の輪
休眠預金活用事業

TikTok

本事業の経費の一部は企業からの寄付、その他個人の皆様からも寄付を活用させていただいております。

本講座の詳しい内容はウェブサイトでご覧下さい https://www.gbv-epschool.or.jp/